



1 近況報告

青年海外協力隊では赴任後3ヶ月、その後は半年おきに報告書をJICA事務所に提出しなければなりません。先日は、その報告書に添付する活動計画書の協議を職場とボランティア調整員のJICA事務所のスタッフを交えて行いました。活動計画は工芸品の情報収集と情報発信、生産者サポートの2つで、活動が明確になりました。

(1) 工芸品の情報収集と情報発信

情報収集では工芸品の販売店、生産者グループを把握し、情報発信を行うことで情報の共有を図ります。情報発信はFacebookなどのSNSの他に、紙媒体でも行います。

(2) 生産者サポート

各生産者グループをサポートする際に工芸品の品質向上を目的に行います。指導するというより日本人の視点からデザインや品質について話す予定です。また、その中で竹細工に興味がある人たちにも紹介します。

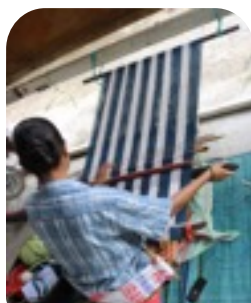


活動計画の協議

2 配属先の活動

活動計画が決まったので、早速計画に基づき動き出しました。手探りの中で活動するより、内容を整理して進めた方が活動もすっきりして進めやすいと感じました。今月は大きく分けて2つの活動です。工芸品取扱いグループのリスト作成と竹で茶こしに使うようなフィルタを作りました。

(1) 工芸品グループのリストの作成



同じタイスでも何人もで効率よく作っているグループとベテランの職人が個人で作成しているグループ

工芸品の取り扱い店は職場の担当者と上司の頭の中で把握されていますが、どこで何が作られており、何が売られているかなどの情報は共有されていませんでした。そこで、同僚から聞き取りを行い、実店舗を回って、何を作って、何を売っているのかなどの一覧のリストを作成しています。実際に調査してみると、生産者グループや販売店によって作るプロセスや取り

扱っているものが異なり、特徴があるのがわかりました。ゆくゆくはリストを公開し、観光客などが工芸品の購入時などの参考にしてもらいたいと考えています。

(2) フィルタの作成

フィルタは先輩隊員からの要望でサンプル品を作りました。最初はコーヒーフィルタということでしたが、目を詰めて隙間を無くすことが難しく、この形になってしまいました。同僚からはご飯を上に乗せて食べるのにも使えるし、帽子にも使えるよという話がありました。

今度は、一緒に作りたいと話してたグループで作成する予定です。何人か竹工芸に興味を持ってくれたら嬉しいです。



3 特集”くだもの”

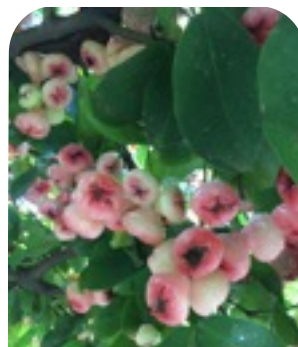
東ティモールの季節は乾季と雨季があり、4月で去年の11月から続いた雨季が終わりとも言われています。この雨季の時期は海沿いにあるフルーツマーケット、庭になる果物が充実し、美味しい果物を安く味わうことができます。私のオススメの果物を紹介します。



パパイアなどの果物が
たくさん並ぶ
フルーツマーケット



Ai-dila
幹が折れそうになる
ぐらい垂れ下がる
パパイア



Jambo
りんごに似た食感で、
酸味がありティモー
ル女性に大人気



Hudi
赤色でいちご味と
言われている
バナナ
1~2米ドルで買えます

4 日本語学校でのひとコマ

毎年、外務省のJENESYSというプログラムで日本と東ティモールの学生の交流を行っているようです。今回、毎週お邪魔している日本語学校で、交流を終え日本から帰国した東ティモールの学生による報告会が開催されました。日本のイメージはとても良いようで、綺麗で、人も親切だったなどの感想もあり、憧れている国の一つのようなようです。

項目	東ティモールでは	日本では	感想
お寿司	ない (生魚食べない)	ある	楽しみにしていた。 美味しかった。
電車	ない	ある	速度が速く、驚いた。
温泉	ある (お湯は温めで服を着たまま入る)	ある (お湯が熱く裸で入る)	裸になるのが恥ずかしかった。
トイレ	ウォシュレットではない	ウォシュレット	水が流れる音が出るトイレがあり、びっくりした。
気候	暑い (毎日気温は30度以上)	寒い (3月に行ったので)	日本は寒かった。